
5. ナンバリングおよびカリキュラムマップ

ナンバリングとは、開講される授業科目に、授業内容・レベル等に応じて特定のナンバーを付与し、体系的な教育プログラムの実現を目指すものである。学生諸君においても次ページのナンバリング付与一覧表に記載のレベルを十分に勘案し、体系的な学修計画を立てていただきたい。

学生の自主的な学習と各自の興味や関心に沿った履修を可能とするために、数多くのメニュー（科目）を用意している。したがって、学生諸君は自己の興味や意欲に基づいて科目選択を行うべきであるが、入学直後にそれを判断することの困難さを勘案し、専門領域ごとにカリキュラムマップを示してある。

ただし、これらはあくまでも「参考」であり、最終的な選択は諸君に委ねられている。ガイダンスでの指導も併せて自主的主体的に科目選択を行ってほしい。

(1) ナンバリング付与ルール

学部コード、科目区分コード、レベルコード、管理コードから形成されている。それぞれのコードの意味は次のとおりである。

- 6ケタ目：学部コード（経済学部はEで統一）
- 5ケタ目：履修要綱の学科科目一覧表（経第7表）の科目区分の上からの並びに準じて科目区分を表すアルファベットを順番に割り当てる。（例）基礎教育科目A，演習科目B，……
- 4ケタ目：レベルコードを表す。初年次基礎教育系科目1，初級科目2，中級科目3，上級科目4，特講8，ゼミ・卒論9。
- 3ケタ目：最初に受講できる年次を使い配当年次を表す。
（例）配当年次1ならば1。配当年次234ならば，2とする。
- 下2ケタ：経第7表の科目区分の各区分における科目の上からの並びに準じて01から99までの番号を当てる。
（例）ゲーム理論の場合：ビジネス経済学の区分で上から2番目にあるので，02とする。
- ・ 番号例：
 - ① 基礎ミクロ経済学（科目区分：基礎教育科目，レベル：初年次基礎教育科目，配当年次：1，並び：上から5番目）：EA1105
 - ② 専門演習3（科目区分：演習科目，レベル：ゼミ，配当年次：4，並び：上から3番目）：EB9403
 - ③ 日本経済論 a：EE2207 → E E 2 2 07

学部コード 科目区分 レベル 年次 並び

- ※ 1 ただし、「マクロ経済学1」のような専門科目パッケージの科目であり、かつ経済学ベーシック科目でもある科目については、専門科目パッケージの科目区分を優先的に用いる。
- ※ 2 複数の専門科目パッケージに含まれている科目（例えば、「日本経済論 a」「日本経済論 b」など）については科目区分(A~V)が上位のナンバーを用いる。